高祖ご降誕 800年慶讃ご奉公
教化・法灯相続つづれ織運動結実の年

清流ニューズ

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話（042）646-0287（代）
FAX（042）644-1164
http://seiryuji.jpn.org/

令和5年度総祈願
本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日蓮上人五ヶ年報恩御奉公・寺内境内整備御有志運動推進
高祖ご降誕八〇〇年慶讃本山大法要　参詣御奉公成就
甲乙御講願主増加・御講・御総講・御会式参詣推進　教養会活動充実
励まし声かけ助行・積極的御法門聴聞・御利益感得口唱実践

年頭のことば

御講有　高須日良上人

宗門のみなさん、明けましておめでとうございます。新たな年をともにお迎えできたことを慶ばしく思います。

新年にあたり、本山御宝前においてご一同のご奉公成就と世界の平和・人々の安穏、そして新型コロナウイルス感染症の拡大防止早期終息と、自然災害により被災した各地の速やかな復興をご祈願させていただきました。

昨年は、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、ロシアによるウクライナ侵攻に始まり、円安や世界的物価高、そして地球温暖化による異常気象と自然災害の多発という、多難な一年でした。

そうした中、九月一日には関東大震災の百回忌をお迎えし、災害対策に対する思いを一層強くさせていただきました。

しかし、私たちが一生の間に経験することは限られています。戦後七十七年間平和の中で暮らしている私たちには、及びもつかないことは山ほどあります。ですから、自分の経験を他の方に伝えたり、物を学び他人の話を聞くことは、この未経験の部分を補うためでもあるのです。

高祖ご降誕八百年慶讃ご奉公もいよいよ結実の年を迎えました。本年は、本山大法要までに一人ひとりが報恩教化を成就し、お祖師さまにお悦びいただきましょう。

日々の信行で培った経験をもとに、佛立信心で得られる現世安穏の境地を、他の方々に語り伝える菩薩行に決定精進し、この困難な末法の世に、私たちだからこそできる現証弘通によって、高祖ご降誕八百年慶讃ご奉公を締めくくり、共に歓びを分かち合えることを念願し、年頭のことばといたします。

御教歌

「よろずよの　外までも弘まる　春くれば
御法の花ぞ　咲匂ふなる」

令和五年元旦　本門佛立宗第二十六世講有 日良　御印

新年のごあいさつ

住職　長谷川 清泊

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年は、大きな御奉公であった日蓮上人御三回忌を、乗泉寺御高職・永江日盡上人のもと、晴天の中、無事に奉修させていただく事ができました。これも偏に、奉修御導師ならびにご出座を賜りました御導師方、そしてお参詣くださったご信者のお徳によるものと厚く御礼申し上げます。

御導師ご遷化のあと、教講一丸となって報恩御奉公成就に向け、異体同心で励んでまいりましたが、依然、猛威を振るう新型コロナウイルスの影響か、はたまた私自身の御奉公・教導が至らないためか、遅々として御弘通が進まず、伸び悩んでおります。

慶讃御奉公における清流寺の教化誓願三〇〇戸に対し、現在一八〇戸ほど、達成率六〇%という数字。昨年の教化成就数は、過去最少だった一昨年を下回り、大変厳しい結果になりました。

宗門よりお慈悲を頂戴し、慶讃御奉公は一年延長となって、本年が「結実の年」となっていますが、十月八日に参詣予定の本山大法要までに、なんとしても目標成就を目指し、身を粉にする思いで励ませていただかなくてはいけません。

コロナ禍に見舞われた三年間で顕著になったのが「お参詣者の減少」です。

コロナ前には平均八五～一〇〇名近くあった御総講のお参詣も、今では総参詣者五〇名未満という事も珍しくなく、見回してみて、ガランとした本堂というのはなんとも寂しく、満座でお参詣があった頃を懐かしく思う事もしばしばです。

家から出ない・出れないという結果、おみ足が悪くなられた方も勿論おられますが、「コロナが怖い」という理由からお参りできない、御奉公が出来ない、というのは、「仏の顔も三度まで」ではありませんが、直に通用しなくなってくるのではないかと感じています。

お祖師様は、大難四ヶ度、特に龍ノ口の御法難から佐渡御流罪に至るまでの出来事を経験された後、その経験を踏まえて、

「各各、我が弟子となのらん人人は、一人もおくしおもわるべからず。」

とご信者一同に対しお折伏・激励されました。

命に及ぶ困難、矢継ぎ早に起こる数々の法難を目の当たりにしても、決して臆することなく、御題目口唱の経力で現証御利益を顕されたのがお祖師さま。

これは決してお祖師さまだからできたということではなく、我々もまた、一途に一生懸命、御題目をお唱えすることで、誰でも頂戴する事が出来るのがこのご信心。

だからこそ**「日蓮が弟子檀那を名乗る人々であるならば、一人たりとも臆病であってはいけない」**と仰せになり、大変な時こそ、信心を奮い起こして信行に励ませていただかなくては、御利益をいただくことなど出来ないぞ、と励まされたのです。まずは、いままで信心に対し臆病であった自分の心を奮い立たせ、「今再び」という気持ちで励ませていただきましょう。その姿を、御宝前は甚く待ち焦がれていらっしゃいます。

「はじまりが　ちがえば末の　すゑまでも」―

開導聖人は御教句でこのようにお示しです。

正真正銘、本年がいよいよ慶讃ご奉公の最終年、お祖師さまにお喜びのいただけるご奉公の成果と、シッカリと信行に励むご信者の姿を目指して、シッカリ精進させていただきましょう。

本年度の清流寺総祈願を御披露させて頂きます。

①本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加

毎年のことですが、この項目なくして御弘通御奉公は語れません。特に本年は本山大法要までに、沢山の成果をあげてお参詣させていただきま

しょう。「どうせ無理」という言い訳は出来ません。異体同心でなければ、このご奉公は決して成就しないのです。

②日蕘上人五ヶ年報恩御奉公・寺内境内整備御有志運動推進

御三回忌も終わり、これから七回忌までの間、本格的に報恩ご奉公に向けて動き出していかなければいけません。

昨年は「修復御有志」と申しておりましたが、そうした修繕のご奉公もさることながら、近いうちに必ず発生するといわれる地震への備えにも目を向けて、仮に地震が発生した際、ご信者や近隣住民を受け入れられるだけの環境作りも進めていくことを踏まえ、「整備御有志」と名称を変え、引き続き五ヶ年にわたる報恩ご奉公を展開してまいりたいと思います。

「箱が大きい」お寺ですので、全ての費用をお寺で賄うことはできません。これもまた皆さまのご協力が必要不可欠です。何卒趣旨をお汲み取りいただき、一人でも多くご有志いただきたく、伏してお願い申し上げます。

③高祖ご降誕八〇〇年慶讃本山大法要 参詣御奉公成就

本年の一番大きなご奉公がこの大法要へのお参詣になります。日時は十月八日の第三座、午後二時より奉修です。

宗門から、当山は約六〇名のお参詣割り当てがされています。今年一年かけて、渉外部とともに、皆さまがお参詣しやすい体制を整えてまいります。万障繰り合わせて一同でお参詣させていただきましょう。

④甲乙御講願主増加・御講・御総講・御会式参詣推進 教養会活動充実

高齢化の波は、日々の御講席にも現れており、その中でも御講願主の減少が急速に進んでいます。教区・部の中心でご奉公されていた方が亡くなる、または施設への入所などで御講が立てられなくなった。結果、残された方の負担が増大し、信心に対する随喜がどんどんと薄れていく。そうした悪循環が毎年繰り返し起こっています。受け持ち御講師と協議し、この人は、と思う方に御講願主のお勧めをさせていただきましょう。

「御講」は佛立宗の根本であり、信徒一同が決して忘れてはならない大事なご奉公です。御講を勤め、御講にお参詣し、御法門を聴聞し、自身の信行に活かして御利益に繋げる。御総講も御会式も御講と同様です。

各教養会でも、人材の発掘・育成は、法灯相続のために大事なご奉公です。部内のご信者はもとより、家族みんなでご奉公に携われる環境づくりは、自然と信心相続に繋がっていきます。教養会全体で手を取り合い、サポートして取り組んでいきたいものです。

⑤励まし声かけ助行・積極的御法門聴聞・御利益感得口唱実践

昨年と同様の項目になります。

昨年は、豪州クイーンズランド組からのお話を受け、有難くも他寺院の皆さまと一緒にお助行させていただく機会を沢山頂戴しました。そしてそのお助行でご祈願をかけ、御看経された方々が、次々と御利益を頂戴されるのを見るにつけ、改めてお助行の大切さ、有難さを実感する、大変貴重な時間を共有させていただきました。

本年度も清流寺として、毎月のお助行を開催させて頂きたいと考えています。

このお助行ということを周知徹底するべく、項目の順番を一部組み換えさせていただきました。何卒ご了解の上、言上いただきますようお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

事務局長　森内誠一

令和五年。

新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、今年一年、皆々様のご健勝を祈念申し上げます。

長びくコロナ禍の影響は、ご奉公体制に大きな影響をもたらせています。

早期の収束を祈るばかりです。

㈠さて、慶讃ご奉公結実のこの一年、特に、十月八日（日）第三座の高祖日蓮大士ご降誕八〇〇年慶讃「本山大法要」には、当山金信徒あげてお参詣をさせて頂きましょう。

㈡令和五年度、宗務方針の中で、弘通局は、〝各寺院の弘通現状の不調は、コロナ禍の影響が大きいとはいえ、一番の問題は、ご信者の高齢化（特に役中さんの高齢化）が顕著であり、このままでは、ご弘通という言葉自体が有名無実となりかねません〟との指摘があります。

まさしく、各寺院共通の問題で、次世代信徒の育成、教区、部内の見直し、教養三会とも連携して、若手人材の発掘につとめましょう。

㈢本山初灯明料の奉納は、ご既承の通り、本山護持と宗門運営を支える大切な浄財です。本年も昨年以上にましての「財の功徳」が積まれますよう、ご家族皆々様による随喜奉納につとめましょう。

㈣健康の維持に、最も大切なことは、人とのコミュニケーションをすること。

社会参加が大変重要だといわれています。

お講にお参詣して、お題目の口唱と共に、教講みんなで楽しいお話しを数多くさせていただきましょう。

ありがとうございます！

以上

新年のごあいさつ

オーストラリア　クイーンズランド組　荒木香里

新年、明けましておめでとうございます。

昨年中は、清流寺のみなさんとクィーンズランド組をつないで祈願助行、合同御利益感得助行などの御奉公をさせていただき、清流寺のみなさんとの関係が築けた年になったと思っています。

また、ブログなどで体験談もいくつか御披露させていただきました。それぞれが信心増進を目指した御奉公の結果だと思っています。

今年も長谷川御住職をはじめ、クィーンズランド組担当の平松信応師の御指導を受けながら、御宝前の御本意に叶う異体同心を目指した御奉公をさせていただきたいと思います。

本年度の清流寺御弘通発展と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。